

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援事業所すばる（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	7年 12月 1日		～ 7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 3	(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士による専門的療育の取り組みを行なっている。また、小集団という環境の為、個々の特性に合わせたきめ細やかな支援が可能である。	山形村社会福祉協議会の福祉サービス（小規模多機能）を生かし、お年寄りとの交流を行っています。その他にも山形村の自然を生かし、どんぐりや松ぼっくり等を拾い工作活動を行ったり、セミの抜け柄や虫を探す等、5感で自然を感じる体験を行っています。	社協の福祉サービス（障害者の就労）を生かし交流する事や、少し先に行く放課後当デイサービス児童との交流を増やしていく。日常生活に生きてくる経験を繰り返し行う（在位を保ち良い姿勢で座る、衣服をたたむ、歯磨き、手を上げて発言する）等小学校も見すえ、一人で出える事が増えるよう個々に合わせ具体的に行っていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年度によって利用者人数が定着しない。	まだ児童発達支援を開始して浅いので、利用人数が少ないことが要因としてあげられる。	子育て支援課と連携し、ニーズを把握し周知していく。
2			
3			